県内経済は、一部に弱さがみられるものの、総じてみれば持ち直している

＜今月のポイント＞

■県内経済は、一部に弱さがみられるものの、総じてみれば持ち直している。

■総合判断は据え置き。雇用情勢は、有効求人倍率が改善傾向にあり、人手不足を背景に企業の労働需要は引き続き強いとみられることから、「持ち直しの兆しがみられる」に判断を引き上げ。雇用情勢以外の項目の判断は据え置き。

■消費者物価指数（総合・水戸市）の推移をみると、23年は物価上昇率（前年同月比）の伸びは全体として鈍化傾向にあったものの、24年以降は燃料価格下落の影響が剥落するとともに食料や教養娯楽などの上昇が続いているため、再び上昇傾向にある。

■先行きは、物価高や株高が企業や家計にもたらす影響、為替動向、中国などの海外経済減速の行方、内外の金融環境の変化について引き続き注視する必要がある。

総務省統計課資料を基にJIR作成

＜基調判断・天気図＞

	基調判断		天気図		
	前月からの変化	2024年6月調査	4月調査	5月調査	6月調査
総合判断	→	一部に弱さがみられるものの、総じてみれば持ち直している			
生産活動	→	弱含んでいる			
設備投資	→	持ち直している			
住宅投資	→	弱含みにある			
公共投資	→	持ち直しつつある			
個人消費	→	一部に弱さがみられるものの緩やかに回復している			
雇用情勢	↗	持ち直しの兆しがみられる			

◆基調判断に添えた矢印は方向感を、天気図は水準を示します

生産は弱含んでいる

4月の鉱工業生産指数（2020年＝100、季節調整値※1）は105.7、前月比0.1％減と、2か月連続で低下した。業種別の内訳についてみると、輸送機械（同2.3％増）、化学（同1.8％増）、金属製品（同3.7％増）、パルプ･紙･紙加工品（同8.1％増）等が上昇し、電気機械（同19.5％減）、生産用機械（同12.0％減）等が低下した。※2

企業ヒアリング（6月）では、最近の生産・受注に関して、「大型空調機器の長期受注により、当面は繁忙継続」、「（好調な）受注状況に変化なし」（ともに電気機械）との声が聞かれた一方、「（4-6月期は）前期と比べ、受注・生産が減少」（輸送機械）、「（昨年からの）半導体不足による生産調整の収束が半年近く延びており、依然受注量の完全回復には至っていない」（プラスチック）など、生産活動の回復の鈍さを指摘する声も引き続き目立った。

このところの生産は、生産指数等などの推移や企業ヒアリングを踏まえると、月々の振れを伴いつつも全体として弱含みの状況にあるとみられ、基調判断は「弱含んでいる」との判断を据え置いた。先行きは持ち直しが期待されるものの、海外経済減速や円安などを背景とするコスト高の影響に加え、自動車関連業種の持ち直しの行方についても注意が必要となっている。

外需に関係する貿易面についてみると、4月の茨城県内税関3支署の輸出額は2,074億円、前年同月比15.8％増と31か月連続で前年水準を上回った。鹿島は石油製品（同4.4％減）が減少したものの、鉄鋼（同60.1％増）などの増加により同15.3%増、日立（日立港・常陸那珂港）は主力の建設用・鉱山用機械（同46.0%増）、自動車（同11.7%増）がともに増加し、同15.9％増であった。

※1：原数値から季節的要因を調整した数値
※2：2024年4月分公表時に、2023年1月分以降の数値を年間補正により改定

出所：経済産業省　＊月次ベース、全国の24年5、6月の生産指数は製造工業生産予測指数をもとに算出

設備投資は持ち直している、住宅投資は弱含み、公共投資は持ち直しつつある

4月の建築物着工床面積（民間非居住用）は、倉庫や工場等の着工減少により、71千㎡、前年同月比20.0％減と2か月連続で前年水準を下回った。四半期ベースでみると、1-3月期は、大型物流施設の着工が落ち着いてきたことなどから前年同期比19.1％減であった。一方、水戸財務事務所の「法人企業景気予測調査（4-6月期調査、茨城県）」によると、県内企業の24年度の設備投資額（※）は、全規模・全産業ベースで、前年度比36.1%増の見込み（うち製造業が同55.7%増・非製造業が同4.1%増）。増加率はいずれも前回（1-3月期）調査を下回ったものの、企業の投資意欲は大きくは崩れていないとみられることから、設備投資は「持ち直している」との判断を据え置いた。

4月の新設住宅着工戸数は1,523戸、前年同月比15.8％増と3か月振りに前年水準を上回った。内訳をみると、持家は553戸、同9.9％減と14か月連続で減少、貸家は639戸、同60.2％増と3か月振りに増加、分譲住宅は307戸（うち分譲マンション65戸）、同2.3%増と3か月振りに増加した。住宅投資は、単月では着工戸数が前年を上回ったものの、主力の持家の着工総数が低迷しており、建物価格上昇や物価上昇などによる将来不安から住宅購入マインドも弱いとみられることから「弱含みにある」との判断を据え置いた。

5月の公共工事請負金額は484億29百万円、前年同月比26.6%増と4か月連続で前年水準を上回った。内訳をみると、国、県、市町村が増加し、独立行政法人は減少した。公共投資は、請負金額がこのところ堅調に推移していることを踏まえ、「持ち直しつつある」との判断を据え置いた。なお、企業ヒアリング（6月）では、建設業者から「公共工事の発注は堅調であり受注も順調。一方、民間は納期やコストの面で価格の折り合いをつけることが難しくなっている。製品高（資源高）にも悩まされている」との声が聞かれた。

※：ソフトウェアを含む（除く土地投資額）

出所：国土交通省 ＊四半期ベース、24年2Qは4月のみの数値

個人消費は、一部に弱さがみられるものの、緩やかに回復している

5月の乗用車販売台数（乗用車新規登録台数＋軽乗用販売台数）は6,688台、前年同月比7.5％減と、5か月連続で前年水準を下回った。内訳は普通乗用車が同0.4％増、小型乗用車が同10.5％減、軽乗用車が同15.3％減であった。乗用車販売は依然前年割れが続くものの、検査不正問題による一部メーカーの出荷停止の影響は徐々に緩和されつつあるとみられる（3月の乗用車販売台数は同22.2％減、4月は14.4％減）。

4月の百貨店・スーパー販売額は、全店ベースで前年同月比0.6％増と14か月連続で前年水準を上回り、既存店ベースは同1.1％減と3か月振りに前年水準を下回った。専門量販店販売額は、家電量販店が同16.0％増と5か月連続で、ドラッグストアは3.2％増と36か月連続で、ホームセンターが同3.0%増と3か月連続で前年水準を上回った。一方、コンビニエンスストアは同0.2％減と2か月連続で前年水準を下回った。

4月の家計消費支出（2人以上の勤労者世帯・水戸市）は、その他の消費支出（仕送り金等）や住居費の減少などにより、前年同月比3.5％減と4か月振りに前年水準を下回った。消費マインドに関して5月の「景気ウォッチャー調査－北関東－」をみると、家計動向関連DI(現状判断)は45.7、前月比2.8pt減と2か月連続で低下し、かつ判断の目安となる50を下回った。

ヒアリング（6月）では、「消費行動の活発化などから客数は増加傾向」（小売業）、「物価上昇により、1人当たりの買上金額は上昇」（小売業）といった声が聞かれた。このように、個人消費は、乗用車販売の落ち込みが続くものの、大型小売店などの供給サイドの販売動向が総じてみれば堅調であることも踏まえ「一部に弱さがみられるものの、緩やかに回復している」との判断を据え置いた。もっとも先行きについては、実質所得や消費マインドの回復の行方などについて引き続き注視する必要がある。

乗用車販売台数、百貨店・スーパー販売額

出所：茨城県自動車販売店協会、経済産業省　＊X-13-ARIMAによる季節調整値、月次ベース

雇用情勢は持ち直しの兆しがみられる

4月の雇用関連指標（ハローワークの求人対象）は、有効求人倍率（季節調整値）が1.38倍、前月比0.03pt増と3か月連続で上昇した。新規求人倍率は2.12倍、前月比0.06pt減と2か月連続で低下した。就業地ベースでの有効求人倍率は1.56倍、前月比0.01pt増であった。

新規求人数は16,941人、前年同月比1.4%増と11か月振りに前年水準を上回った。新規求職者数は10,918人、同4.4％増と3か月振りに前年水準を上回った。新規求人数（パートを除く）の内訳を産業別にみると、宿泊業・飲食サービス業（同79.8％増）、情報通信業（同23.9％増）、卸売業・小売業（同15.0％増）、運輸業・郵便業（同2.5％増）などが増加し、製造業（同12.4％減、16か月連続の減少）、サービス業（他に分類されないもの）（同5.6％減）、建設業（同0.3％減）などが減少した。

失業者を示す雇用保険受給者数は7,486人、前年同月比7.6％増と13か月連続で前年水準を上回った。一方、事業主都合離職者数は1,419人、同0.8％減と5か月振りに前年水準を下回った。また、民間職業紹介における県内の求人動向は、正社員は緩やかな増加傾向、アルバイト・パートは横ばいであった。

このように雇用情勢は、雇用保険受給者数の増加傾向が続くものの、有効求人倍率が改善傾向にあること、民間職業紹介の状況からは人手不足を背景に企業の労働需要は強いとみられることから「持ち直しの兆しがみられる」と判断を引き上げた。なお、企業ヒアリング（6月）では、今夏の賞与支給に関して、社員のモチベーション維持や物価高への対応を踏まえ、対前年比での増額を検討するとの声が目立った。賃上げの行方とともに、夏季賞与も含めた実質的な所得環境の改善が物価上昇を上回るかどうか引き続き注視していく必要があるだろう。

出所：厚生労働省　＊四半期ベース、24年2Qは4月のみの数値

茨城県経済動向　基調判断の推移

		基調判断
2020	10	県内経済は、新型コロナウィルスの影響から依然として厳しい状況にあるものの、一部に持ち直しの動きがみられる
	11	県内経済は、新型コロナウィルスの影響から依然として厳しい状況にあるものの、一部に持ち直しの動きがみられる
	12	県内経済は、新型コロナウィルスの影響から依然として厳しい状況にあるものの、一部に持ち直しの動きがみられる
2021	1	県内経済は、新型コロナウィルスの影響から依然として厳しい状況にあるものの、一部に持ち直しの動きがみられる
	2	県内経済は、新型コロナウィルスの影響から依然として厳しい状況にあるものの、一部に持ち直しの動きがみられる
	3	県内経済は、新型コロナウィルスの影響が続いているものの、一部に持ち直しの動きがみられる
	4	県内経済は、新型コロナウィルスの影響が続いているものの、一部に持ち直しの動きがみられる
	5	県内経済は、新型コロナウィルスの影響が続いているものの、一部に持ち直しの動きがみられる
	6	県内経済は、新型コロナウィルスの影響が続いているものの、一部に持ち直しの動きがみられる
	7	県内経済は、新型コロナウィルスの影響が続いているものの、一部に持ち直しの動きがみられる
	8	県内経済は、新型コロナウィルスの影響が続いているものの、一部に持ち直しの動きがみられる
	9	県内経済は、新型コロナウィルスの影響が続いているものの、一部に持ち直しの動きがみられる
	10	県内経済は、新型コロナウィルスの影響が続いているものの、一部に持ち直しの動きがみられる
	11	県内経済は、新型コロナウィルスの影響が続いているものの、一部に持ち直しの動きがみられる
	12	県内経済は、新型コロナウィルスの影響が続いているものの、一部に持ち直しの動きがみられる
2022	1	県内経済は、新型コロナウィルスの影響が続いているものの、持ち直しの動きがみられる
	2	県内経済は、新型コロナウィルスの影響が続いているものの、持ち直しの動きがみられる
	3	県内経済は、新型コロナウイルスの影響により、持ち直しの動きが一服している
	4	県内経済は、新型コロナウイルスの影響により、持ち直しの動きが一服している
	5	県内経済は、一部に弱さがみられるものの、持ち直しの兆しがみられる
	6	県内経済は、一部に弱さがみられるものの、持ち直しの兆しがみられる
	7	県内経済は、一部に弱さがみられるものの、持ち直しの兆しがみられる
	8	県内経済は、一部に弱さがみられるものの、持ち直しの兆しがみられる
	9	県内経済は、一部に弱さがみられるものの、持ち直しつつある
	10	県内経済は、一部に弱さがみられるものの、持ち直しつつある
	11	県内経済は、資源高などの影響を受けつつも、持ち直しつつある
	12	県内経済は、資源高などの影響を受けつつも、持ち直しつつある
2023	1	県内経済は、資源高などの影響を受けつつも、持ち直しつつある
	2	県内経済は、資源高などの影響を受けつつも、持ち直しつつある
	3	県内経済は、物価高などの影響を受けつつも、持ち直しつつある
	4	県内経済は、物価高などの影響を受けつつも、持ち直しつつある
	5	県内経済は、物価高などの影響を受けつつも、持ち直しつつある
	6	県内経済は、物価高などの影響を受けつつも、持ち直しつつある
	7	県内経済は、物価高などの影響を受けつつも、持ち直している
	8	県内経済は、物価高などの影響を受けつつも、持ち直している
	9	県内経済は、物価高などの影響を受けつつも、持ち直している
	10	県内経済は、物価高などの影響を受けつつも、持ち直している
	11	県内経済は、物価高などの影響を受けつつも、持ち直している
	12	県内経済は、物価高などの影響を受けつつも、持ち直している
2024	1	県内経済は、物価高などの影響を受けつつも、持ち直している
	2	県内経済は、物価高などの影響を受けつつも、持ち直している
	3	県内経済は、一部に弱さがみられるものの、総じてみれば持ち直している
	4	県内経済は、一部に弱さがみられるものの、総じてみれば持ち直している
	5	県内経済は、一部に弱さがみられるものの、総じてみれば持ち直している
	6	県内経済は、一部に弱さがみられるものの、総じてみれば持ち直している

各指標の動向判断の推移

		生産	住宅	設備投資
2023	5	持ち直しの動きに足踏みがみられる	弱含みにある	持ち直しつつある
	6	持ち直しの動きに足踏みがみられる	弱含みにある	持ち直している
	7	持ち直しの動きに足踏みがみられる	弱含みにある	持ち直している
	8	持ち直しの動きに足踏みがみられる	弱含みにある	持ち直している
	9	持ち直しの動きに足踏みがみられる	弱含みにある	持ち直している
	10	横ばい圏内で推移している	弱含みにある	持ち直している
	11	横ばい圏内で推移している	弱含みにある	持ち直している
	12	横ばい圏内で推移している	弱含みにある	持ち直している
2024	1	横ばい圏内で推移している	弱含みにある	持ち直している
	2	横ばい圏内で推移している	弱含みにある	持ち直している
	3	弱含んでいる	弱含みにある	持ち直している
	4	弱含んでいる	弱含みにある	持ち直している
	5	弱含んでいる	弱含みにある	持ち直している
	6	弱含んでいる	弱含みにある	持ち直している

		公共投資	個人消費	雇用
2023	5	持ち直している	持ち直している	持ち直している
	6	持ち直している	持ち直している	持ち直しの動きに足踏みがみられる
	7	持ち直している	緩やかに回復している	持ち直しの動きに足踏みがみられる
	8	持ち直している	緩やかに回復している	持ち直しの動きに足踏みがみられる
	9	持ち直している	緩やかに回復している	持ち直しの動きに足踏みがみられる
	10	持ち直している	緩やかに回復している	持ち直しの動きが弱まっている
	11	持ち直している	緩やかに回復している	持ち直しの動きが弱まっている
	12	持ち直している	緩やかに回復している	持ち直しの動きが弱まっている
2024	1	持ち直しの動きに足踏みがみられる	緩やかに回復している	横ばい圏内で推移している
	2	持ち直しの動きに足踏みがみられる	緩やかに回復している	横ばい圏内で推移している
	3	持ち直しの動きに足踏みがみられる	一部に弱さがみられるものの緩やかに回復している	横ばい圏内で推移している
	4	持ち直しつつある	一部に弱さがみられるものの緩やかに回復している	横ばい圏内で推移している
	5	持ち直しつつある	一部に弱さがみられるものの緩やかに回復している	横ばい圏内で推移している
	6	持ち直しつつある	一部に弱さがみられるものの緩やかに回復している	持ち直しの兆しがみられる

「茨城県経済動向」は旧常陽地域研究センター（常陽アーク）が
1969年より継続してまいりました月例調査を、
2019年4月以降、常陽産業研究所が継承・実施しているものです

表紙の通番は常陽アーク時の通番を引き継いでおります

常陽産業研究所

地域研究センター

・本資料は、当社が独自に集計・入手しているデータを除き、2024年6月21日現在で公に利用可能な統計指標に基づき作成されています。

・公開されている統計指標は、過去に遡及して改訂されることがあります。

・統計指標を利用する際は、常に最新の公表資料を参照する必要があります。

・本資料は、統計指標とそれに基づく判断が正確であるよう最善を尽くしておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。

・本資料に示した将来に関する全ての記述は、現時点での判断を示しているに過ぎません。